【報１－２】

他のアーバンデザインセンターの取り組み事例について

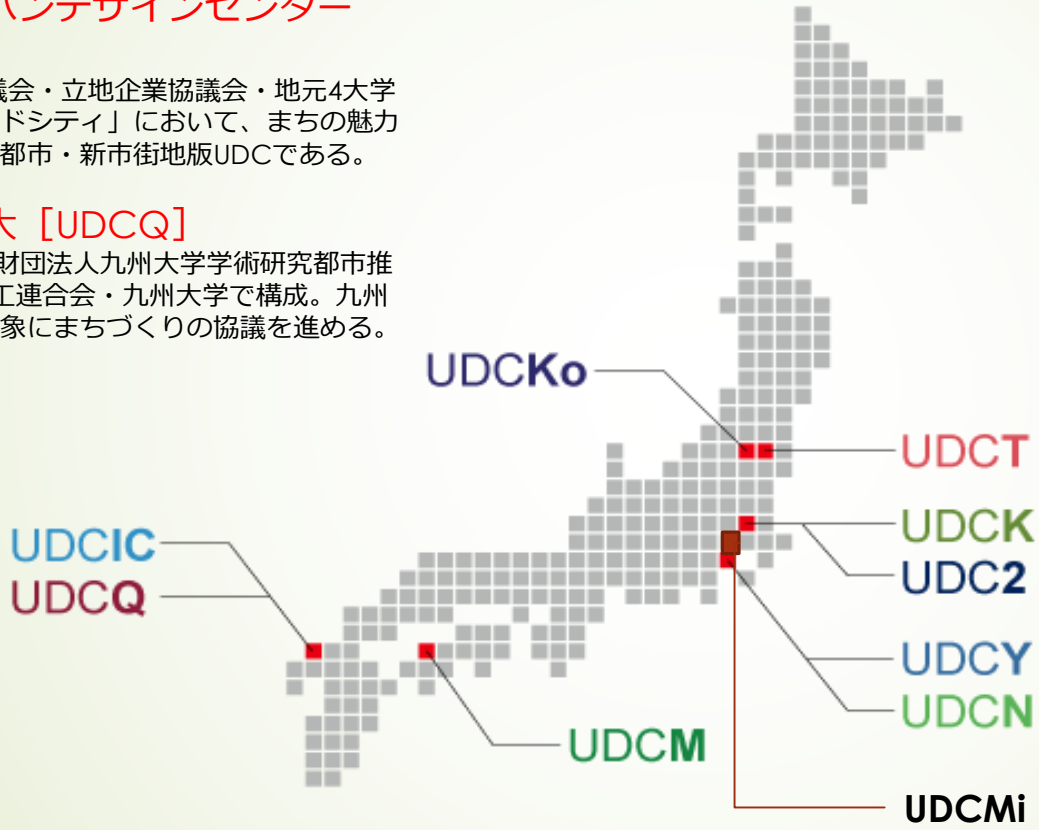
平成２８年８月２２日

草津市総合政策部草津未来研究所

全国のＵＤＣ一覧

■ アイランドシティ・アーバンデザインセンター［UDCIC］
2012年10月設立。福岡市・地域団体協議会・立地企業協議会・地元4大学で構成。福岡市東区の人工島「アイランドシティ」において、まちの魅力向上やプロモーションに取り組む地方大都市・新市街地版UDCである。

■ アーバンデザイン会議九大［UDCQ］
2007年3月設立。福岡市・糸島市・公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）・地元町会・元岡商工連合会・九州大学で構成。九州大学キャンパスが移転した糸島半島を対象にまちづくりの協議を進める。



■ 松山アーバンデザインセンター［UDCM］
2014年4月設立。松山市・地域団体・企業・地元4大学で構成。松山市のまちなかを対象に、「未来志向のまちづくり」と「歴史・伝統・文化の継承」を柱に、将来ビジョン検討や個別地区の空間デザイン等に取り組む。

■ 柏の葉アーバンデザインセンター［UDCK］
2006年11月設立。柏市・東京大学・千葉大学・地域団体・企業で構成。千葉県柏市北部 柏の葉エリアにおいて、知の資源や民間の活力を最大限に生かした次世代環境都市・国際学術研究都市の実現を目指し活動している。

■ 田村地域デザインセンター［UDCT］
2008年8月設立。田村市行政区長連合会・田村市・東京大学で構成。福島県田村市において、合併した旧町村単位で地方小都市のコンパクトなまちづくりに取り組む。

■ 郡山アーバンデザインセンター［UDCKo］
2008年11月設立。地元町会・地元企業に所属する個人・東京大学で構成。地方中核都市である福島県郡山市の郊外に拠点を置く民間主導型UDCである。

■ アーバンデザインセンター横浜［UDCY］
2008年4月設立。横浜に拠点を置く専門家が連携するネットワーク型シンクタンク。これからの横浜のあり方を幅広い視野から考え、実践に向けて取り組む大都市版UDCである。

■ UDCN 並木ラボ
2014年3月設立。横浜市立大学COC事業の一環で、横浜市金沢シーサイドタウンに拠点を置き、郊外住宅地における超高齢化・空家増加・建物老朽化といった課題への対応に向け実践的に取り組む。

■ 柏アーバンデザインセンター［UDC２］
2015年4月設立。柏市・地元の団体や個人・東京大学で構成。千葉県柏市の柏駅周辺エリアにおいて、地域が抱える課題を解決しながら、持続可能なまちの魅力づくりと資産価値向上に取り組む。

■ アーバンデザインセンターうらわ［UDCMi］
2015年10月設立。さいたま市の団体や慶應義塾大学・東京電機大学で構成。埼玉県さいたま市の浦和美園駅周辺エリアにおいて、地域が抱える課題を解決しながら、環境未来都市づくりに取り組む。

全体の流れ

柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK)事例 4

松山アーバンデザインセンター（UDCM)事例 13

ＵＤＣＫの変遷

セグウェイ試乗実験
小さな公共空間ＰＬＳ社会実験＊
マルチ交通シェアリング
かしわスマートサイクル
公衆電源サービス

ピノキオプロジェクト
マルシェコロール

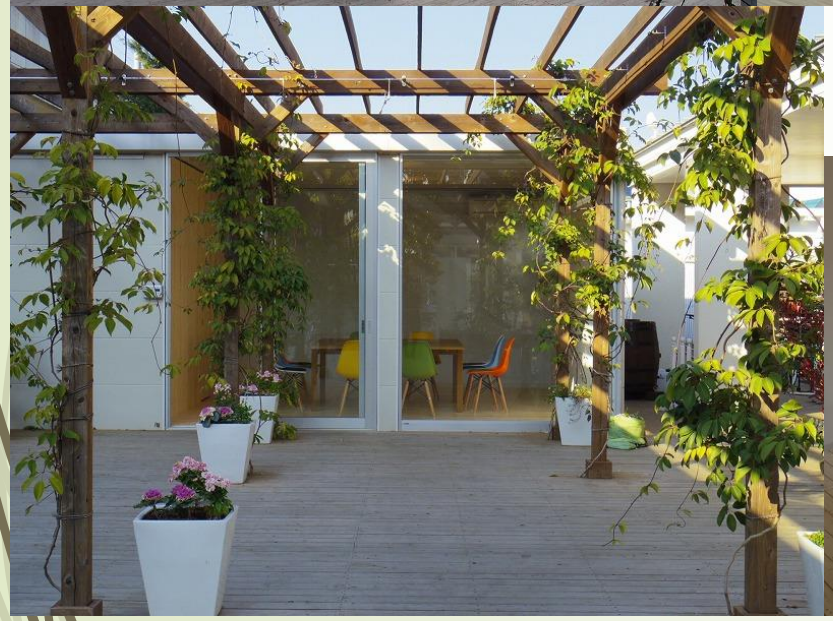
まちのクラブ活動

プロジェクト名	“街のり” シェアリング
UDC	UDCK （千葉県柏市）
概要	低炭素型モビリティへの転換促進のため、シェアリング対象車両を電動バイク・電気自動車等に拡充し、交通手段の選択性を高めるとともに、ICTの活用により無人運営で乗り捨て可能な貸し借りを実現する新しいシェアリングシステムとして、実証実験。 2011年6月より1ヶ月間の試行期間を経て、技術的運用の可能性や一定のニーズが確認されたことを受け、実験を継続し、柏中心市街地含むポート増設やシステム改善を進めてきました。一定のリピーター利用はあったものの、駐車場の確保にかかわる問題等からポート数や車両台数の拡充が困難であったため、総利用数を伸ばすことができず、乗り捨て型の実証実験としては2016年1月を持って終了。
関係団体等	【主催】柏の葉キャンパスシティITコンソーシアム（KACITEC） 【協力】柏市　一般財団法人柏市まちづくり公社　柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）　東京大学大学院新領域創成科学研究科　柏ITS推進協議会　三井不動産株式会社　ららぽーと柏の葉　メルセデス・ベンツ日本株式会社　ヤマハ発動機株式会社　トーマス株式会社　サイカパーキング株式会社　日産自動車株式会社 【運営】株式会社アスク

3
柏市役所

4
ゲートスクエア

プロジェクト名	小さな公共空間PLS
UDC	UDCK （千葉県柏市）
概要	PLS（Public Life Space）は、柏の葉イノベーション・デザイン研究機構（東京大学、三協フロンテア、三井不動産、柏商工会議所）が主体となった新しい時代の公共空間のあり方を探る実証実験。三協フロンテア株式会社が事業展開する「ユニットハウス」を使い、UDCK敷地内に実験施設PLSを3棟設置、試験運用。
成果等	「小さな」公共空間は、市民の側から自発的な活動を起こし、自由で使いやすい公共空間を創り出す試みであり、以下のPLSが運用されている。 **インフォボックス**：　市役所支所の最小単位をイメージ、「街の案内所」として駅前広場側の道路沿いにおいて、主にUDCK 関連イベントのチラシ、行政資料、パンフレット等の閲覧・配布。印刷媒体だけでなく、地図やインフォメーションボードも置き、市民活動や地域情報を更新した。 **プロジェクトハウス**：　研究や制作の過程や成果を見せながら、市民が気軽に参加できる作業室（兼）展示室で、キッチン・シャワー・休憩室等の滞在空間も備えている。アーティストの滞在やワークショップ、市民による企画展など様々な企画利用が展開された。 **ブックサービス**：　書斎と図書館の中間的な小規模私設図書室をイメージし、中古本を蔵書としながら1 階を公開型の閲覧スペース、2 階は書庫を兼ねた読書スペースとした。1 階には公衆電源「espot」やソファも設けられ、市民の日常的な憩いの空間として機能した。



PLS

プロジェクト名	ピノキオプロジェクト
UDC	UDCK （千葉県柏市）
概要	「子どもは街で育てよう！」のコンセプトのもと、つくばエクスプレス・柏の葉キャンパス駅周辺を舞台に、2007年から開催している当エリア独自の教育プログラム。ピノキオのコスチュームを着た子どもたちが地元の花屋やカフェ、銀行など数十の店舗にて仕事を体験します。仕事の後には、プログラム独自の仮想通貨「Pi（ピ）」を給料として支給され、地域の協力店舗で使用することができます。働くことの楽しさや意義について考える機会として、勤労感謝の日（11月23日）に開催いたします。
関係団体等	■主催: ピノキオプロジェクト実行委員会2014、柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)、三井不動産レジデンシャル株式会社、三井ショッピングパークららぽーと柏の葉、特定非営利活動法人NPO支援センターちば、株式会社読売広告社、スパイラル/株式会社ワコールアートセンター ■後援: 柏市、柏市教育委員会 ■協力: 三井不動産株式会社、京葉銀行、千葉銀行、国立がん研究センター東病院、辻仲病院柏の葉、オークビレッジ柏の葉、まちの健康研究所「あ・し・た」、KOIL/柏の葉イノベーションラボ、株式会社ニチレイ、オムロンヘルスケア株式会社、一般社団法人千葉県計量協会、道の駅やまだ、さをり船橋

ノポリス
柏の葉

UDCKの現況

- 街びらきから10年が経ち、開発が一段落つき、従来の社会実験中心から、住民の社会関係資本の醸成にシフト
- 地域のNPO等市民活動団体との協働を強化

全体の流れ

柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK)事例 4

松山アーバンデザインセンター（UDCM)事例 13

ＵＤＣＭの変遷

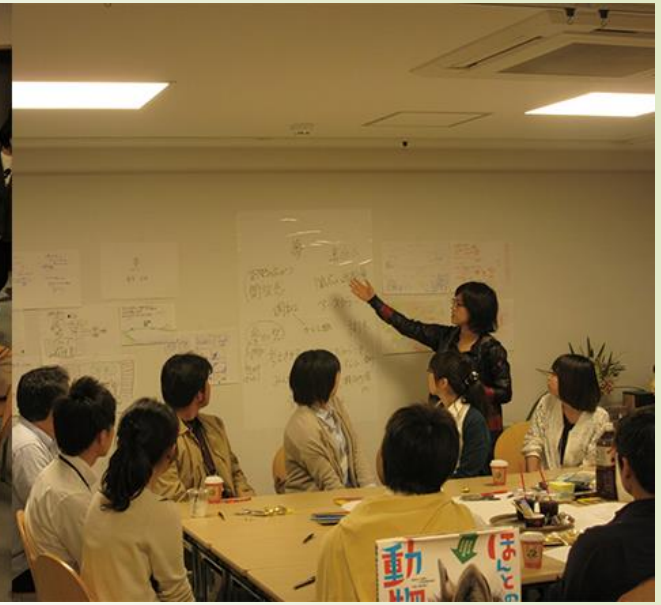
大街道再開発
みんなの広場

学生のイベント支援
（お化け屋敷）

学生中心による
さまざまなイベントの実施

プロジェクト名	ひろばのはたけ （まちなか広場社会実験）
UDC	UDCM （愛媛県松山市）
概要	まちなかの低未利用地を広場や交流スペースに転用し、「賑わい再生拠点」として、また、誰もが参加可能な「まちづくり拠点」として位置づけ、様々なプログラム等の試行を通じ、効果的・持続的な仕組みを検証することを目的として行うものである。 市民発案による「ひろばのはたけ」を実施
成果等	本プロジェクトは、「まちなかで 野菜づくり はじめませんか？」を合言葉にみなさんで「みんなのひろば」の一角を活用して、野菜などを育てるプロジェクトです。 　まちなかの「まちづくり拠点」「憩いの空間」として整備された「松山アーバンデザインセンター」・「みんなのひろば」でのまちづくり活動に誰もが気軽に参加できるきっかけとするため、『ひろばのはたけ』を立ち上げました。 野菜を育てる活動をテーマに、「スタッフと来訪者の交流や仲間づくり」や「まちなかでの野菜作り体験の提供」を目的に、農業の専門家のアドバイスを戴きながら、ワークショップ形式でひろばを市民と活用する「ひろばのはたけ」ワークショップを開催

POP UP
Free!
LIBRARY



UDCMの現況

- 昨年度まで別々に運営されていた「もぶるテラス・みんなの広場」とアーバンデザインセンターが今年度（平成28年度）から愛媛大学が運営
- サードプレイス機能とアーバンデザインセンター機能を併せ持つことによる相乗効果を期待
- 社会実験専門部会を立ち上げ、社会実験に注力